



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 ヤフー株式会社  
 コード番号 4689 URL <http://www.yahoo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

上場取引所 東  
 TEL 03-6440-6000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	284,911	16.3	147,124	8.6	147,655	7.9	93,123	12.0
25年3月期第3四半期	245,014	10.3	135,420	11.7	136,789	11.5	83,169	14.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 94,488百万円 (12.0%) 25年3月期第3四半期 84,376百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	16.21	16.21
25年3月期第3四半期	14.34	14.34

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	788,885		601,576			75.2
25年3月期	743,311		551,264			73.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 593,256百万円 25年3月期 543,459百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	401.00	401.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				4.43	4.43

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想)期末の配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	387,141	12.9	196,054	5.2	196,829	4.3	125,962	9.5	21.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,752,011,100 株	25年3月期	5,751,055,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	44,375,000 株	25年3月期	1,016,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,744,601,654 株	25年3月期3Q	5,801,507,614 株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)13ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、平成26年1月29日(水)に当社ホームページ(<http://ir.yahoo.co.jp>)に掲載しております。
- ・当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、株式の分割および単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	9
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	13
2. 四半期連結財務諸表 .....	14
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	14
(2) 四半期連結貸借対照表 .....	16
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	17
(4) 継続企業的前提に関する注記 .....	18
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ■当第3四半期累計期間（平成25年4月～12月）の業績ハイライト

	前年同四半期累計	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
売上高	2,450億円	2,849億円	398億円増	16.3%増
営業利益	1,354億円	1,471億円	117億円増	8.6%増
経常利益	1,367億円	1,476億円	108億円増	7.9%増
四半期純利益	831億円	931億円	99億円増	12.0%増

当第3四半期累計期間は、平成25年10月のeコマース事業における新戦略の開始によりストア出店料等を無料化しましたが、売上は前年同四半期と比較して2桁の増加率となりました。

ディスプレイ広告においては、「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク (YDN)」の売上が大きく拡大したほか、ブランディング効果の高い広告商品の出稿増加により「ブランドパネル」の売上が前年同四半期比で伸びました。検索連動型広告においては、スマートフォン経由の売上が大きく伸び、売上が前年同四半期比で増加しました。また、「Yahoo!プレミアム」、ゲーム関連サービス、データセンター関連の売上も引き続き増加しました。加えて、前年度にバリューコマース(株)、(株)カービュー、(株)サイバーエージェントFXを連結したことも、前年同四半期比の売上の増加に寄与しました。

利益面においては、主に人件費、販売促進費、のれん償却額が増加しましたが、引き続き増益を確保しました。

## セグメント別の売上高・営業利益（平成25年4月～12月）

	前年同四半期累計	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
マーケティングソリューション事業				
売上高	1,672億円	1,981億円	309億円増	18.5%増
営業利益	922億円	1,059億円	136億円増	14.8%増
コンシューマ事業				
売上高	750億円	778億円	27億円増	3.7%増
営業利益	556億円	521億円	34億円減	6.3%減
その他				
売上高	85億円	165億円	80億円増	94.1%増
営業利益	21億円	59億円	38億円増	179.2%増
調整額				
売上高	△57億円	△76億円	—	—
営業利益	△146億円	△169億円	—	—
合計				
売上高	2,450億円	2,849億円	398億円増	16.3%増
営業利益	1,354億円	1,471億円	117億円増	8.6%増

(注) 1. その他は、報告セグメントに属していない事業活動のうち、主に決済・金融関連サービスの収益を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引および報告セグメントに帰属しない全社費用です。

3. 当四半期累計より、一部のサービスをセグメント間で移管しております。変更の主な内容は、ゲーム関連サービスを「コンシューマ事業」から「マーケティングソリューション事業」へ移管していることです。なお、前年同四半期累計のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しております。

## ■当第3四半期（平成25年10月～12月）の業績ハイライト

	前年同四半期	当四半期	増減(額)	増減(率)
売上高	886億円	968億円	82億円増	9.3%増
営業利益	499億円	492億円	7億円減	1.5%減
経常利益	500億円	495億円	5億円減	1.1%減
四半期純利益	309億円	305億円	4億円減	1.4%減

当第3四半期においては、「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク (YDN)」の広告出稿が大きく拡大したほか、「ブランドパネル」においても「トップインパクト」などブランディング効果の高い広告商品の出稿増加により売上が増加しました。検索連動型広告については、スマートフォン経由の売上が大きく伸びたことにより、前年同四半期と比較して売上が増加しました。また、「Yahoo!プレミアム」では会員数の増加により前年同四半期比で売上が増加したほか、ゲーム関連サービス、データセンター関連の売上也引き続き増加しました。

利益面においては、平成25年10月のeコマース事業における新戦略の開始によりストア出店料等を無料化するとともに、積極的なプロモーションを展開し販売促進費が増加したことにより、前年同四半期比でわずかに減益となりました。

## セグメント別の売上高・営業利益（平成25年10月～12月）

	前年同四半期	当四半期	増減(額)	増減(率)
マーケティングソリューション事業				
売上高	608億円	689億円	80億円増	13.3%増
営業利益	341億円	372億円	31億円増	9.3%増
コンシューマ事業				
売上高	268億円	250億円	18億円減	6.7%減
営業利益	198億円	149億円	49億円減	25.0%減
その他				
売上高	33億円	57億円	23億円増	70.9%増
営業利益	9億円	23億円	14億円増	154.1%増
調整額				
売上高	△24億円	△29億円	—	—
営業利益	△49億円	△53億円	—	—
合計				
売上高	886億円	968億円	82億円増	9.3%増
営業利益	499億円	492億円	7億円減	1.5%減

(注) 1. その他は、報告セグメントに属していない事業活動のうち、主に決済・金融関連サービスの収益を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引および報告セグメントに帰属しない全社費用です。

3. 当第1四半期より、一部のサービスをセグメント間で移管しております。変更の主な内容は、ゲーム関連サービスを「コンシューマ事業」から「マーケティングソリューション事業」へ移管していることです。なお、前年同四半期のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しております。

報告セグメント	主な事業の内容
マーケティングソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索連動型広告やディスプレイ広告などの広告関連サービス</li> <li>・ データセンター関連などの法人向けサービス</li> <li>・ 「Yahoo!不動産」などの情報掲載サービス</li> <li>・ ゲーム関連サービス</li> </ul>
コンシューマ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ヤフオク!」や「Yahoo!ショッピング」などのeコマース関連サービス</li> <li>・ 「Yahoo!プレミアム」や「Yahoo! BB」などの会員向けサービス</li> </ul>

### ■当第3四半期のマーケティングソリューション事業

「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク (YDN)」の売上拡大が続いたことなどによりディスプレイ広告の売上が拡大したことに加え、検索連動型広告の売上も引き続き増加し、広告関連の売上が前年同四半期比で増加しました。また、ゲーム関連サービスやデータセンター関連の売上も引き続き前年同四半期比で増加しました。

以上の結果、当四半期のマーケティングソリューション事業の売上高は689億円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益は372億円（前年同四半期比9.3%増）、経常利益は374億円（前年同四半期比9.1%増）となり、全売上高に占める割合は71.2%となりました。

- ・ ディスプレイ広告では、「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク (YDN)」の売上が前年同四半期比で大きく拡大し、特に広告主のサイトを訪れたユーザーに対して広告を表示するサイトリターゲティングの利用が増加しました。また、「ブランドパネル」においては、「トップインパクト」などブランディング効果の高い広告技術を用いた広告商品の出稿が増加したことなどにより、売上が前年同四半期比で増加しました。
- ・ 検索連動型広告は、スマートフォンでの検索サービスの利用を促進するための施策を積極的に行ったことにより、スマートフォン経由の売上が大きく伸び、検索連動型広告全体の売上も前年同四半期比で増加しました。
- ・ ゲーム関連サービスは、「ドラゴンクエスト モンスターパレード」など新たに提供を開始したタイトルの売上が好調だったことに加え、「SDガンダムオペレーションズ」など既存タイトルの売上の増加やグリー(株)との業務提携も寄与し、全体の売上も前年同四半期比で増加しました。
- ・ データセンター関連は、引き続きゲーム関連企業などによるクラウドコンピューティングサービスの利用が増加したことなどにより、売上が前年同四半期比で増加しました。
- ・ 前年度に(株)カービューを連結したことも増収に寄与しました。
- ・ 平成25年11月、マーケティングソリューション事業において、マルチビッグデータの活用を核とした新たな戦略を発表しました。

**■当第3四半期のコンシューマ事業**

「Yahoo!ショッピング」と「ヤフオク!」においては、eコマース事業における新戦略としてストア出店料等の無料化を実施したことにより前年同四半期比で売上が減少しましたが、「Yahoo!プレミアム」においては、会員数の増加により前年同四半期比で売上が増加しました。

利益面においては、積極的なプロモーションやテレビCM等を展開したことにより、減益となりました。

以上の結果、当四半期のコンシューマ事業の売上高は250億円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益は149億円（前年同四半期比25.0%減）、経常利益は148億円（前年同四半期比25.4%減）となり、全売上高に占める割合は25.9%となりました。

- ・「Yahoo!ショッピング」においては、新戦略としてストア出店料の無料化と売上ロイヤルティの無料化を実施したことにより、新規の出店申込数が約9万件に上るなど、大きな反響を呼んでいます。
- ・「ヤフオク!」においては、「Yahoo!ショッピング」と同様、新戦略としてストア出店料の無料化を実施するとともに、販売促進活動にも注力したことにより、取扱高は前年同四半期比で2桁に迫る伸びとなりました。
- ・「Yahoo!プレミアム」では、ソフトバンクショップにおける会員登録の増加により、前年同四半期比で売上が拡大しました。平成25年12月末のYahoo!プレミアム会員ID数は前年同月末比で95万ID増の967万IDとなりました。

## 四半期連結損益計算書(要約)の分析

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	245,014	284,911	39,897	16.3
売上原価	24,396	36,222	11,825	48.5
売上総利益	220,617	248,689	28,071	12.7
販売費及び一般管理費	85,197	101,564	16,367	19.2
人件費	27,668	32,983	5,314	19.2
業務委託費	10,737	12,150	1,413	13.2
販売促進費	7,780	10,628	2,848	36.6
ロイヤルティ	7,080	8,276	1,196	16.9
減価償却費	7,169	8,192	1,022	14.3
情報提供料	5,074	6,200	1,125	22.2
賃借料・水道光熱費	5,413	5,514	101	1.9
通信費	4,688	4,612	△ 75	△ 1.6
販売手数料	3,674	3,516	△ 158	△ 4.3
維持管理費	1,782	2,112	330	18.6
のれん償却額	555	1,877	1,321	237.9
広告宣伝費	687	1,650	963	140.2
租税公課	1,265	1,294	29	2.3
ライセンス料	454	1,109	655	144.2
旅費交通費	300	617	316	105.6
その他	865	827	△ 37	△ 4.3
営業利益	135,420	147,124	11,703	8.6
営業外収益	1,678	1,066	△ 611	△ 36.4
営業外費用	309	536	226	73.0
経常利益	136,789	147,655	10,865	7.9
特別利益	1,388	5,582	4,194	302.1
特別損失	2,430	2,438	8	0.3
税金等調整前四半期純利益	135,747	150,799	15,051	11.1
法人税等	52,159	56,906	4,747	9.1
法人税・住民税及び事業税	52,027	55,116	3,089	5.9
法人税等調整額	131	1,789	1,658	—
少数株主損益調整前四半期純利益	83,588	93,893	10,304	12.3
少数株主利益	418	769	351	83.9
四半期純利益	83,169	93,123	9,953	12.0

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当四半期 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	88,630	96,871	8,240	9.3
売上原価	9,169	12,254	3,085	33.6
売上総利益	79,461	84,616	5,155	6.5
販売費及び一般管理費	29,488	35,372	5,884	20.0
人件費 ※1	9,546	10,964	1,418	14.9
業務委託費 ※2	3,563	4,352	789	22.1
販売促進費 ※3	2,522	4,029	1,507	59.8
減価償却費	2,580	2,871	290	11.3
ロイヤルティ	2,571	2,812	241	9.4
情報提供料 ※4	1,761	2,393	631	35.9
賃借料・水道光熱費	1,832	1,857	25	1.4
通信費	1,614	1,454	△ 159	△ 9.9
販売手数料	1,221	1,271	49	4.1
広告宣伝費 ※5	221	803	582	262.6
維持管理費	617	714	96	15.7
のれん償却額	382	650	268	70.1
ライセンス料	182	470	287	157.3
租税公課	438	362	△ 76	△ 17.4
旅費交通費	117	224	107	91.4
その他 ※6	313	138	△ 175	△ 55.9
営業利益	49,973	49,244	△ 728	△ 1.5
営業外収益	460	339	△ 121	△ 26.4
営業外費用	379	66	△ 312	△ 82.4
経常利益	50,054	49,516	△ 537	△ 1.1
特別利益	1,354	54	△ 1,299	△ 95.9
特別損失	632	497	△ 135	△ 21.4
税金等調整前四半期純利益	50,775	49,074	△ 1,701	△ 3.4
法人税等	19,596	18,281	△ 1,315	△ 6.7
法人税・住民税及び事業税	19,714	17,104	△ 2,609	△ 13.2
法人税等調整額	△ 117	1,176	1,294	—
少数株主損益調整前四半期純利益	31,179	30,792	△ 386	△ 1.2
少数株主利益	231	277	45	19.6
四半期純利益	30,947	30,515	△ 431	△ 1.4

売上高

当四半期の売上高が前年同四半期と比べて増加したのは、主に広告売上の増加、ならびに(株)サイバーエージェントFXを連結子会社化したことによるものです。

売上原価

当四半期の売上原価が前年同四半期と比べて増加したのは、主に広告売上、および広告に付随するサービスの売上の増加によるものです。

販売費及び一般管理費

※1. 人件費

当四半期末における当グループの従業員数は、6,220名と前年同四半期末と比べて476名増加(8.3%増)しました。

※2. 業務委託費

当四半期の業務委託費が前年同四半期と比べて増加したのは、主にサービス等の運営委託費の増加によるものです。

※3. 販売促進費

当四半期の販売促進費が前年同四半期と比べて増加したのは、主にプロモーション費用、およびポイント費用の増加によるものです。

※4. 情報提供料

当四半期の情報提供料が前年同四半期と比べて増加したのは、主に検索システムにかかわる費用の増加によるものです。

※5. 広告宣伝費

当四半期の広告宣伝費が前年同四半期と比べて増加したのは、テレビCM等の増加によるものです。

※6. その他

当四半期のその他の主なものは、支払報酬、貸倒引当金繰入額、教育訓練費です。

営業外損益

当四半期の営業外収益の主なものは、受取利息です。

特別損益

当四半期の特別損失の主なものは、固定資産の減損損失です。

法人税等

当四半期の税金等調整前四半期純利益に対する法人税等の負担率は37.3%となりました。

四半期純利益

当四半期の1株当たり四半期純利益は5円32銭です。

## (2) 財政状態に関する説明

## 四半期連結貸借対照表(要約)の分析

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成25年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成26年3月期 第3四半期末)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
<b>【資産の部】</b>				
流動資産				
現金及び預金 ※1	268,203	429,974	161,771	60.3
売掛金	52,217	56,583	4,366	8.4
たな卸資産	145	132	△ 12	△ 8.5
未収入金 ※2	122,999	3,289	△ 119,710	△ 97.3
外国為替取引顧客預託金 ※3	—	77,644	77,644	—
繰延税金資産	4,594	4,580	△ 14	△ 0.3
その他 ※4	25,493	40,215	14,721	57.7
貸倒引当金	△ 1,632	△ 1,324	307	△ 18.8
流動資産合計	472,021	611,096	139,074	29.5
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	11,334	15,741	4,406	38.9
機械装置	10,877	12,461	1,583	14.6
工具器具備品	12,934	15,924	2,990	23.1
土地	5,425	5,425	—	—
その他	934	3	△ 931	△ 99.7
有形固定資産合計 ※5	41,506	49,555	8,048	19.4
無形固定資産				
ソフトウェア	11,360	13,546	2,186	19.2
のれん ※6	4,034	10,838	6,804	168.7
その他 ※7	408	4,712	4,304	—
無形固定資産合計	15,803	29,098	13,294	84.1
投資その他の資産				
投資有価証券 ※8	78,242	85,803	7,561	9.7
繰延税金資産	5,288	3,631	△ 1,656	△ 31.3
その他	10,075	9,717	△ 357	△ 3.5
貸倒引当金	△ 23	△ 18	4	△ 20.5
投資その他の資産合計	93,582	99,134	5,552	5.9
固定資産合計	150,893	177,789	26,895	17.8
資産合計	622,915	788,885	165,970	26.6

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成25年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成26年3月期 第3四半期末)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
<b>【負債の部】</b>				
流動負債				
買掛金	7,597	9,316	1,718	22.6
未払金 ※9	16,673	22,200	5,527	33.2
未払法人税等	19,903	22,094	2,191	11.0
ポイント引当金	4,410	3,157	△ 1,252	△ 28.4
外国為替取引顧客預り証拠金 ※10	—	84,533	84,533	—
その他 ※11	34,212	43,057	8,845	25.9
流動負債合計	82,796	184,360	101,564	122.7
固定負債	2,866	2,947	81	2.8
負債合計	85,663	187,308	101,645	118.7
<b>【純資産の部】</b>				
株主資本				
資本金	8,022	8,240	218	2.7
資本剰余金	3,103	3,320	217	7.0
利益剰余金 ※12	521,467	598,308	76,840	14.7
自己株式 ※13	△ 5,608	△ 21,795	△ 16,186	288.6
株主資本合計	526,983	588,073	61,089	11.6
その他の包括利益累計額	2,321	5,183	2,861	123.3
その他有価証券評価差額金	2,142	4,623	2,480	115.7
繰延ヘッジ損益	△ 5	—	5	—
為替換算調整勘定	183	560	376	204.4
新株予約権	781	710	△ 71	△ 9.1
少数株主持分	7,165	7,609	444	6.2
純資産合計	537,252	601,576	64,324	12.0
負債純資産合計	622,915	788,885	165,970	26.6

## 【前連結会計年度末との比較】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて455億円増加し、7,888億円となりました。これは、現金及び預金などが増加したことによります。

負債合計は47億円減少し、1,873億円となりました。これは、外国為替取引顧客預り証拠金などの増加があったものの、未払法人税等などが減少したことによります。

純資産合計は503億円増加し、6,015億円となりました。これは、自己株式の増加があったものの、利益剰余金などが増加したことによります。

## 【前年同四半期末との比較】

## 資産の部

- ※1. 現金及び預金が前年同四半期末と比べて増加したのは、主に営業活動による資金の増加、およびBBモバイル(株)株式の売却にかかわる未収入金を回収したことによるものです。
- ※2. 未収入金が前年同四半期末と比べて減少したのは、主にBBモバイル(株)株式の売却にかかわる未収入金を回収したことによるものです。
- ※3. 外国為替取引顧客預託金が前年同四半期末と比べて増加したのは、(株)サイバーエージェントFXを連結子会社化したことによるものです。
- ※4. 流動資産のその他が前年同四半期末と比べて増加したのは、(株)サイバーエージェントFXを連結子会社化したことによるものです。
- ※5. 有形固定資産が前年同四半期末と比べて増加したのは、主にデータセンターの建設によるものです。
- ※6. のれんが前年同四半期末と比べて増加したのは、主に連結子会社の増加によるものです。
- ※7. 無形固定資産のその他が前年同四半期末と比べて増加したのは、主に子会社株式取得に伴う無形固定資産の増加によるものです。
- ※8. 投資有価証券は、主に取得、および時価の上昇により前年同四半期末と比べて増加しました。

## 負債の部

- ※9. 未払金が前年同四半期末と比べて増加したのは、主にサーバー関連機器の購入、およびプロモーション費用にかかわる債務の増加によるものです。
- ※10. 外国為替取引顧客預り証拠金が前年同四半期末と比べて増加したのは、(株)サイバーエージェントFXを連結子会社化したことによるものです。
- ※11. 流動負債のその他が前年同四半期末と比べて増加したのは、主に連結子会社の増加によるものです。

## 純資産の部

- ※12. 利益剰余金は、主に自己株式の買入消却、および配当金の支払いによる減少があったものの、純利益の計上により前年同四半期末と比べて増加しました。
- ※13. 自己株式は、買入消却による減少があったものの、取得により前年同四半期末と比べて増加しました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)の分析

(単位：百万円)

	前年同四半期 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当四半期 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
区 分	金額	金額	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期純利益	50,775	49,074	150,799
2 減価償却費	3,073	3,567	10,220
3 売上債権の増減額	△ 4,175	△ 2,764	△ 11
4 仕入債務の増減額	△ 3,503	△ 5,979	△ 1,659
5 法人税等の支払額	△ 33,047	△ 33,807	△ 75,224
6 その他営業活動によるキャッシュ・フロー	993	547	△ 7,811
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,116	10,637	76,313
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産の取得による支出	△ 5,231	△ 4,616	△ 13,091
2 無形固定資産の取得による支出	△ 761	△ 759	△ 2,283
3 投資有価証券の取得による支出	△ 2,381	△ 2,411	△ 6,949
4 その他投資活動によるキャッシュ・フロー	2,511	74	△ 39,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,862	△ 7,713	△ 61,894
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	—	△ 21,423	△ 21,423
2 その他財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 40	△ 40	△ 23,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 40	△ 21,464	△ 44,772
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	132	298	448
V. 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	8,345	△ 18,241	△ 29,906
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	254,155	398,215	409,886
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,702	—	—
VIII. 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	—	△ 6
IX. 現金及び現金同等物の四半期末残高	266,203	379,974	379,974

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期末に比べ1,137億円増加し、3,799億円となりました。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動においては、法人税等の支払いがあったものの、主に四半期純利益の計上により106億円の収入となりました。

投資活動においては、主に有形固定資産の取得により771億円の支出となりました。

財務活動においては、主に自己株式の取得により214億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループの収益・費用の予想にあたっては、経営上の指標としている利用者の各種サービス利用状況等が重要な前提条件となっておりますが、インターネットを取り巻く環境の変化は激しく、それら指標の伸び率・変動率について一定の条件を設けることが困難であるため、半期ごとの業績見通しを公表いたします。

平成26年3月期 通期連結業績見通し（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

連結売上高	387,141百万円
連結営業利益	196,054百万円
連結経常利益	196,829百万円
連結当期純利益	125,962百万円

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	245,014	284,911
売上原価	24,396	36,222
売上総利益	220,617	248,689
販売費及び一般管理費	85,197	101,564
営業利益	135,420	147,124
営業外収益		
受取利息	1,083	400
為替差益	123	222
その他	471	444
営業外収益合計	1,678	1,066
営業外費用		
持分法による投資損失	—	409
その他	309	126
営業外費用合計	309	536
経常利益	136,789	147,655
特別利益		
投資有価証券売却益	36	5,148
段階取得に係る差益	1,348	—
その他	3	433
特別利益合計	1,388	5,582
特別損失		
減損損失	541	839
のれん償却額	—	829
システム事故関連損失	1,223	—
その他	665	769
特別損失合計	2,430	2,438
税金等調整前四半期純利益	135,747	150,799
法人税、住民税及び事業税	52,027	55,116
法人税等調整額	131	1,789
法人税等合計	52,159	56,906
少数株主損益調整前四半期純利益	83,588	93,893
少数株主利益	418	769
四半期純利益	83,169	93,123

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	83,588	93,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	611	135
繰延ヘッジ損益	△5	2
為替換算調整勘定	160	209
持分法適用会社に対する持分相当額	21	247
その他の包括利益合計	787	595
四半期包括利益	84,376	94,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,957	93,711
少数株主に係る四半期包括利益	418	776

## (2) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	414,086	429,974
売掛金	55,939	56,583
外国為替取引顧客預託金	68,451	77,644
その他	39,187	48,218
貸倒引当金	△1,563	△1,324
流動資産合計	576,102	611,096
固定資産		
有形固定資産	45,179	49,555
無形固定資産		
のれん	11,914	10,838
その他	16,910	18,259
無形固定資産合計	28,824	29,098
投資その他の資産		
投資有価証券	80,913	85,803
その他	12,334	13,349
貸倒引当金	△42	△18
投資その他の資産合計	93,204	99,134
固定資産合計	167,209	177,789
資産合計	743,311	788,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,970	9,316
未払法人税等	42,255	22,094
外国為替取引顧客預り証拠金	72,485	84,533
その他	63,377	68,416
流動負債合計	189,088	184,360
固定負債	2,957	2,947
負債合計	192,046	187,308
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,037	8,240
資本剰余金	3,117	3,320
利益剰余金	528,081	598,308
自己株式	△372	△21,795
株主資本合計	538,864	588,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,248	4,623
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	349	560
その他の包括利益累計額合計	4,594	5,183
新株予約権	570	710
少数株主持分	7,234	7,609
純資産合計	551,264	601,576
負債純資産合計	743,311	788,885

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	135,747	150,799
減価償却費	8,556	10,220
のれん償却額	504	2,654
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	307	△1,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55	△1,659
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,417	△7,891
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,907	7,376
その他	△6,598	△8,858
小計	145,787	151,537
法人税等の支払額	△66,833	△75,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,953	76,313
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△12,707	△13,091
無形固定資産の取得による支出	△2,238	△2,283
投資有価証券の取得による支出	△37,434	△6,949
投資有価証券の売却による収入	146	7,290
その他	455	3,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,778	△61,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△21,423
配当金の支払額	△20,096	△23,029
その他	48	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,048	△44,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	448
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,245	△29,906
現金及び現金同等物の期首残高	255,268	409,886
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,710	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△21	△6
現金及び現金同等物の四半期末残高	266,203	379,974

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年10月25日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が21,423百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が21,795百万円となっております。